

2026 年 8 月 9 日 聖霊降臨節第 1 1 主日 礼拝次第

主日礼拝

前 奏 (黙 想)

招きの言葉 イザヤ書54章10 節(旧約 1151 節)

讃 美 歌 6(つくりぬしを賛美します)

主の祈り <A>(讃美歌93-5)

詩 編 交 読 詩127編 1~5 節(交読詩編 148 節)

聖 書 エフェソの信徒への手紙5章 21~6章 4 節(新約 358 節)

祈 禱

讃 美 歌 561(平和を求めて)

説 教 「キリストの体の一部」 田中雅弘牧師

讃 美 歌 546(世界中の父や母を)

信 仰 告 白 使徒信条<A>(讃美歌93-4)

献 金

讃 美 歌 88(こころに愛を)

派 遣 祝 福

後 奏 (黙 想)

報 告

※讃美歌は原則として全節を歌います。

聖 書 エフェソの信徒への手紙5章 21~6章 4 節

妻と夫

21 キリストに対する畏れをもって、互いに仕え合いなさい。22 妻たちよ、主に仕えるように、自分の夫に仕えなさい。23 キリストが教会の頭であり、自らその体の救い主であるように、夫は妻の頭だからです。24 また、教会がキリストに仕えるように、妻もすべての面で夫に仕えるべきです。25 夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のために御自分をお与えになったように、妻を愛しなさい。26 キリストがそうなさったのは、言葉を伴う水の洗いによって、教会を清めて聖なるものとし、27しみやしわやそのたぐいのものは何一つない、聖なる、汚れのない、栄光に輝く教会を御自分の前に立たせるためでした。28 そのように夫も、自分の体のように妻を愛さなくてはなりません。妻を愛する人は、自分自身を愛しているのです。29 わが身を憎んだ者は一人もおらず、かえって、キリストが教会になさったように、わが身を養い、いたわるものです。30 わたしたちは、キリストの体の一部なのです。31「それゆえ、人は父と母を離れてその妻と結ばれ、二人は一体となる。」32 この神秘は偉大です。わたしは、キリストと教会について述べているのです。33 いずれにせよ、あなたがたも、それぞれ、妻を自分のように愛しなさい。妻は夫を敬いなさい。

子と親

1 子供たち、主に結ばれている者として両親に従いなさい。それは正しいことです。2「父と母を敬いなさい。」これは約束を伴う最初の掟です。3「そうすれば、あなたは幸福になり、地上で長く生きることができる」という約束です。4 父親たち、子供を怒らせてはなりません。主がしつけ諭されるように、育てなさい。

主の祈り A(讃美歌21 93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。

み国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。 アーメン。

讃美歌6番

- 1 つくりぬしを 賛美します。
み前に進み ひれふし、
ささげます 身もたましいも、
きよい主のみ名を 感謝して。
- 2 全能の神を 賛美します。
風と波を しずめて、
こころみに 打ち勝つ力
与える恵みに 感謝して。
- 3 心こめて 賛美します。
よろこびの声 合わせて、
強い手で いつも導く
あがないの神に 感謝して。

讃美歌561番

- 1 平和を求めて歩む民を
祝してください、世界の主よ。
- 2 戦いの声は 今も響き
夜の闇について なおとどろく。
- 3 途絶えることなく 続けていこう、
平和を求める 話し合いを。
- 4 汗して働く 人と人の
きずなは武器より さらに強い。
- 5 照らしてください、聖霊の炎、
この世の平和を 阻む闇を。
- 6 与えてください、世界の主よ、
正義と平和と 和解の日を。

讃美歌546番

- 1 世界中の 父や母を
支え守る 親なる神。
すべての家庭と 親の責任を
祝してください。
- 2 人となられ この世に住み、
共に歩む み子なる神。
すべての子どもをいつも見守って
育ててください。
- 3 人の心 ひとつにして、
自由にする 聖なる霊。
すべての家庭に 愛を増し加え、
平和をください。

讃美歌88番

心に愛を 豊かにみだし
日ごとのわざに つかわしたまえ